

(作成年月日) 2024 年 12 月 26 日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 停留精巣の術式の違いによる治療成績を調べる後ろ向き研究

[研究の目的]

停留精巣に対して精巣固定術を受けられた患者さんを対象としています。精巣固定術には、足の付け根付近から手術を行う方法と、陰囊から手術を行う方法があります。この二つの方法で、手術後の合併症の頻度や手術前後での精巣の大きさに変化があるかを検証し、今後の診療に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

精巣固定術を2008年4月1日から2024年6月30日までの間に、小児外科で受けられた方。

○利用する検体・情報

検体：利用しません。

利用する診療情報は以下の通りです。

・手術前、手術時の背景：

停留精巣と診断された時の年齢、手術時の年齢、精巣の位置、片側か両側か、精巣容積、基礎疾患の有無、手術時間、術中合併症。精巣容積は超音波検査もしくは手術時の直接測定で計測。

・手術後の背景：

年齢、精巣の位置、超音波検査で求めた精巣容積。術後合併症の有無、精巣挙上の有無。

○利用または提供を開始する予定日

倫理委員会承認日

[研究組織]

香川大学医学部小児外科学 助教 藤井 喬之

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部小児外科学 担当医師 藤井喬之

電話 087-891-2181 FAX 087-891-2182